

2014年度の主な改定と変更

1. 全般

- ・修士課程用旧基準（2007年度～2013年度）の経過措置期間終了にともない、本基準に関する文書及び各文書の関連記述を削除。

2. 「認定・審査の手順と方法」の修正（2013.12.24）

- ・オブザーバーを（研修者）と（視察者）に区別（新基準／旧基準）
- ・3.3項「審査チームの構成及び調整申し立て」の記載内容を整理（新基準）
- ・4.3項「審査チームの構成及び調整申し立て」の記載内容を整理（旧基準）
- ・付則A（2008年度改定に関する経過措置）の削除（旧基準）

3. 「認定・審査の手順と方法（一斉審査方式）」の公開（2014.3.5）

- ・2014年度から適用を開始する一斉審査方式による審査に関して記述（新基準）

4. 「審査の手引き」の修正（2014.6.2）

- ・2.4 オブザーバーの任務と心得
オブザーバー（視察者）も含めた記述とした。
- ・2.6 審査に伴う費用負担と便宜の供与
内容を整理した。
- ・4.13 点検大項目の判定について
例を追加して理解しやすくした。
- ・7.1 プログラム点検書（実地審査最終面談時）、審査報告書
中間審査の根拠・指摘事項の記載に関する説明を追加。

5. 「自己点検書」、「自己点検書作成の手引き」の修正（2013.12.25）

- ・自己点検結果編「記入上の注意」の5番目の「・」の「所在」を明確化、説明追加（新基準）
- ・「まえがき」の提出方法に関する記述を、JABEEのウェブサイトにて電子ファイルをアップロードする方法に変更（旧基準）

6. 「プログラム点検書（実地審査前）」の修正（2014.6.2）

- ・一斉審査用の様式を追加。

7. 「プログラム点検書・審査報告書の修正（2014.6.2）

- ・一斉審査用の様式を追加。
- ・一次審査報告書の「審査チームの所見」欄を修正。

以上